

沖縄電友会報

令和7年8月

第69号



糸満市字座波の綱引き（大城晴男さん撮影）

目次

ご挨拶

沖縄電友会会長 仲本 榮 章 2
NTT西日本沖縄支店
ビジネス営業部長 古 堅 誠 3
電友会本部副会長 小 椋 敏 勝 4

電友会本部だより

第87回理事会・第36回評議員会開催 5

沖縄地方本部だより

令和7年度総会1号～6号議案 6
令和7年度沖縄電友会役員 8
慶 弔 9

沖縄電友会総会・生年祝い懇親会開催
活躍する会員 10

「電友会つない」だより 12
近況・雑感（生年祝） 15

NTTだより

○第38回NAHAMASON開催 19
○ICT SOLUTION DAYS
in 沖縄を開催 20

○「うない」ご協力に感謝！～中頭病院に
タオル帽子256枚提供！ 21

○沖縄県浦添市と災害時における相
互連携に関する協定書を締結 22

○名護さくら祭り
「第39回二見情話大会」へ出場 23

○「うない」第18回フードドライブ活動
～食料品などの贈呈式を開催～ 23

○恩納村のむらづくり推進に向けて
「ICT連携協定」を締結 24

○石垣島トリアスロン大会2025
エイトステーション運営大会をサポート 25

○「第39回全日本トリアスロン宮古島大会」
ボランティア活動で盛り上げ！ 26

○環境クリーン活動in瀬長島を実施！
～西日本グループ全国一斉清掃活動～ 27

文芸コーナー

○随想 28
○短歌・俳句 32

編集後記

残暑見舞い 35

題字 新垣 昌也氏



ご挨拶

沖縄電同友会 会長 仲 本 榮 章

本日はお忙しいところNTT沖縄支店から古堅ビジネス営業部長、電友会本部から小椋副会長にご列席頂いております。

なお、古堅部長は七月一日づいで沖縄支店長にご栄転ということで、久しぶりの沖縄出身なので今後の活躍を大いに期待しております。NTTの枠にとどまらずに沖縄の自立のためにぜひ活躍して頂きたいと思えます。それでは古堅新支店長の就任を祝い皆様で盛大な拍手をしましょう。

なお、今年の生年祝いは九十七歳が四名、八十五歳が二十四名になっております。後ほど皆様と共にお祝いをしましょう。

昨日天皇陛下ご一行がお帰りになられました、良かったですね、梅雨晴れになって。ネット上では「奇跡の晴れ間」などとうわさになっていました。

今回の訪問でテレビを見ながら特に印象深かったのは、愛子さまのかりゆしウエアの姿勢と、対馬丸記念館でのコメントが印象的でした。平和の志を次世代に引き継ぐという意図を強く感じました。

沖縄の美を発信し続けた柳宗悦の心偈（こころうた）の中に「見てしりそ知りてな見そ」という言葉があります。まず直観で見ること、知識は後にして理解を深めなさいということですが、含蓄のある言葉で、まずは見て感じなさいということ、新たな発見があるということでしょうが簡単そうでなかなか実行できません。

先だって首里城の復元現場で壺屋の陶工の皆さんが再現した鬼瓦が完成したので見学にいききました。特に強調された目玉はくりくりしていて二十四時間首里城を守ってもらえるよう

な、見事な出来栄でした。正殿は二〇二六年度の完成に向けて、富山からも首里城の顔に挑んでいる彫刻師がいます。そして漆器の塗。日本中の一流工芸士の技が凝縮される首里城、完成が待ちどろしいですね。「見てしりそ・・・」ですね。さらに県内の大きな話題のひとつ今帰仁のジャングリア、2050ゲイトウェイ作戦など大型のプロジェクトがひしめきあっています。やーぐまい（家にひきこもる）している暇はありませんね。

さてわれわれの電友会の活動ですが、皆様すでにご存じのよう、昨年度は沖縄電友会の五十周年にあたり電友会会員の人間国宝西江喜春さんの独演会や能登半島地震復旧支援チャリティーゴルフ大会の開催など四項目の記念事業を展開しております。

例年のボランティア活動賞においてはライフル射撃の照屋峰一さんが受賞しております。さらに今年に入ってからハボーリング大会の開催、そして福建省

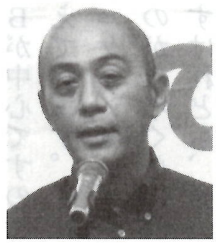
福州市との文化交流会に、三線サークルおよび尺八サークルが福州大学の音楽学院の二胡のグループと共演し、新聞紙上で大きく報道されました。

また、日頃お世話になっていいるNTT沖縄支店との連携については退職者交流会への参加、フードバンクへの協力、環境クリーン作戦への参加等NTTグループとの連携を積極的に行っております。

平成七年度については具体的には事務局長からご提案がありますが、サークルの強化を図りながら会員を増やし、健全で豊かなシニアライフの実現のために楽しい企画を考えております。ぜひふるってご参加をお願いします。

先島の会員の皆様とはなかなかお会いする機会がありませんが、今年度は楽しい企画も携えて訪問できればと考えております。

簡単ではございますがこれ私のごあいさつとさせていただきます。



ご挨拶

NTT西日本沖縄支店 ビジネス営業部長

古 堅 誠

沖縄電電同友会の皆さまはじめまして。ただ今、ご紹介頂きました、ビジネス営業部長を務めております古堅と申します。本日は古江支店長からメッセージを預かってきておりますので代読でご挨拶させていただきます。

「令和7年度沖縄電電同友会 定期総会」の開催、誠にありがとうございます。

また、電友会の皆さまには、平素よりNTTグループの事業運営に対する多大なご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

コミュニケーションツール「エルガナ」の積極的な活用をはじめ、設備110番や設備の安全パトロールへのご協力、瀬長島等での清掃活動など、様々な場面でお力添えをいただき、この場をお借りし改めて御礼を申し上げます。

沖縄支店の事業動向について少し触れさせていただければと思います。昨年度は、社員一人ひとりの

着実な取り組みにより、多くの成果を創出できた1年だったと思っております。私たち沖縄の強みである「結」の力を発揮し、組織を越えた連携のもと、新たな仕事や先進的な取り組みにも果敢にチャレンジして参りました。

取り組みの一例としてご紹介させて頂きますと、先ず私たちのベースである「つなぐ その先に ひらく あたらしい世界のトビラを」というパーパス(存在意義)のもとで、「つなぐ」使命においては、伊江島の光中継ケーブルの地中化や、南北大東島間の光海底ケーブルの整備を進め(今年完成予定)通信設備の強化に努めてきました。また、能登半島地震や台風が上陸した九州(鹿児島)へも沖縄から支援者を派遣するなど、通信インフラの復旧を支えてきました。

「ひらく」使命においては、NTT西日本内での初事例となった南城市や、石垣市での公道における自動運転EVバスの実証実験を行い、

深刻化するドライバー不足など社会課題の解決に繋がる取り組みを進めていますし、AIカメラでスポーツの試合を撮影、配信するサービスを石垣市で導入しました。

また、現在、大阪で開催されている万博においては、NTTグループもIOWN(低消費電力・低遅延で、大容量・高品質な次世代ネットワーク)をはじめとした、最先端技術を体感できるパビリオンを出展しており、沖縄からも十数名の社員をスタッフとして派遣し頑張っているところでございます。

地域イベントへの協賛や社会貢献活動においては、NAHAMASONや石垣島トライアスロン大会での給水ボランティア活動をはじめ、女性社員が運営する委員会「うない」が牽引する、フードドライブ活動やペットボトルのエコキャップ活動、タオル帽子活動などOBの皆様にも必要な食料品等を提供頂きつつ活動しており、こうした取り組みを積極的に情報発信することで、多くのメディアに取り上げて頂きました(年間約100回)地域の皆さまにも、私たちの活動を一層ご理解いただくことができましたのではないかと思います。

私たちが「これまでもこれから」も地域の皆さまから選ばれる存在」であり続けるためにも、厳しい環境変化の中であつても、お客様の期待やニーズにしっかりと応え、お客様の体験価値(CX)を向上し続けることが不可欠だと思っております。そのためにも、改めて私たちの強みをさらに磨き、弱みを克服・改善すること、そして社員一人ひとりが変革の当事者であるという意識を持ち、さらなるスキルアップと具体的な行動につなげていくことが必要だと考えております。こうした考えのもと、社員一丸となつて様々な活動、変革に挑戦し、地域の発展に貢献していく所存でございます。

今後におきましても、OBの皆さまのご指導を胸に邁進してまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、「沖縄電電同友会」の益々のご発展と、皆さまのご健勝を祈念致しまして、私からのご挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。

NTT西日本沖縄支店

支店長 古 江 健太郎



ご挨拶

電友会本部 副会長 小 椋 敏 勝

皆さん、こんにちは、只今ご紹介頂きました小椋でございます。電友会本部の副会長と関東電友会の会長、両方やっております。二十年程前に九州事業本

部長をやっていましたので、沖縄は何度も来ています。事前にいろいろ沖縄本部の皆さんの活動についてお聞きしましたが、どこも同じように会員の増強、会員の減をどう食い止めるのかについて大変厳しい状況です。

全国に電友会の地方本部が十五あるのですがその中で、会員が増えているのは二つだけなのです。一つは日比谷同友会で研究所のOBと本社採用者のOBが中心ですので、少しずつ増えています。それから、コミュニケーションズの同友会というのが二年ぐらい前にできたのですけれども、会員の年齢層が若

いものですから、ここも増えています。それ以外は、どこも同じように会員数減の問題を抱えています。

それから財務的にも会員数の減に伴って非常に厳しくなってきました。今後の電友会全体の活動をどうするのかという中で、今回大きな変化がございました。これまで我々の活動に対してNTT東日本・西日本から、会員一人当たり幾らという形で支援金を頂いておりその額が、四二〇円だったのですけれどもこれが決まったのが平成三年なのです、今の電友会という組織が出来た時なのです、当時私が担当課長の頃で決めたのですけれども、今まで変わっていないと思っていなかったですね。今回、これが五六〇円に引き上げられました。これは、大改革であり

まして、NTT東日本・西日本、財務が厳しい状況でありますが、これだけの金を出して頂いたということについて大いに感謝しなければいけないと思っています。

それでは、お金が増えた分をどういう形で生かすかという話ですけれども、一つは、増やしてもらうに当たっては、会員の増強に一生懸命努めますからという話を東・西日本総務とお約束しています。私も関東本部の会長として痛感しています。会員を増やすための特効薬が無いですよね。結局、地道な活動のためにこの経費が使えるのであればそれを生かしていく、本部としても来年の今頃どういう形でやられたかをお聞かせいただきたいと思っています。いい施策があれば全国展開していきたいと思っています。

もう一つは、日々の活動でありこれに対する支援です。かつて皆様はどこかの報話局に勤めていたと思うのですが、全国に報話局って、一番多いときは

一三〇〇の拠点があったのですよ、沖縄の離島にもあったでしょう、今はもう有りませんから、だとすると地域の皆さんとの拠点はだれが担っているかというと、我々OBですよね。NTTの一番の強みは地べたに接している会社だということですから、地べたに接して活動しているのは我々OBですので、その活動でNTTを支えているのだというところを現役の人に見せするということ。

このような取り組みが、今回の増強に対しての回答としていきたいと思えます、そういう面では電友会にとっても新たな局面の年となりましたので、皆さんの活動を一層頑張っていただきますことを祈念しまして、私からの挨拶とさせていただきます。



電友会本部だより

電友会本部第87回理事会及び第36回評議員会の開催

令和七年七月十日（木）にKKRホテル東京にて、電友会本部第八十七回理事会及び第三十六回評議員会が開催されました。

仲本榮章理事並びに村吉政常評議員が出席しました。

理事会議事

- 第1号議案 任期途中での理事・監事の選任の件
- 第2号議案 令和6年度事業報告承認の件
- 第3号議案 令和6年度収支計算書承認の件
- 第4号議案 令和7年度事業計画（案）承認の件
- 第5号議案 令和7年度収支予算書（案）承認の件
- 第6号議案 理事選任の件



電友会本部評議員会模様



電友会本部理事会模様

沖縄地方本部だより

令和七年度定期総会・祝賀会開催

令和七年六月七日（土）パシフィックホテル沖縄において、令和七年度電同友会沖縄地方本部定期総会並びに懇親・祝賀会を開催いたしました。

当日は、那覇とNTT宮古・八重山営業所をWebexによるオンライン開催としました。那覇会場には七十七名、宮古九名、八重山五名の参加があり、総会に先立ち、令和六年度に亡くなられた十九名の方々に対して黙とうにより哀悼の意を表しました。

比嘉辰子副会長の開会のことばの後、仲本会長の挨拶、来賓のNTT西日本沖縄支店古堅ビジネス営業部長の



生年祝

長嶺則夫さん、俊久子さん、玉城正雄さん



総会模様

ごあいさつ、電友会本部小椋副会長のごあいさつの後、総会では、小波津事務局長より、令和七年四月十六日に開催された第一回理事会で決議された第一号議案から第六号議案までを報告いたしました。

また、懇親・祝賀会では、恒例の三線サークルによる古典音楽斉唱で幕開け、金城勇副会長の乾杯の音頭、仲本会長による尺八独奏、尺八サークルによる合奏が行われました。

八十五歳トゥシビー祝いは、宮古会場では松原徹夫理事より村吉順栄さんへ記念品の贈呈後、村吉さんからお礼の挨拶が生中継されました。那覇会場では、八十五歳トゥシビー祝いの三名（長嶺則夫さん、俊久子さん、玉城正雄さん）へ仲本会長から花束・記念品

が贈呈され全員で祝福いたしました。三名よりごあいさつを頂き、終盤は三線サークルによる琉球民謡合唱、引き続きカチャーシーで大いに盛り上がり会場内の福を隅々までかき混ぜ、最後は外間元三副会長による中締めとなりました。

年 月 日	項 目	概 要
2024.4.11	会計事務監査	令和5年度会計監査（監事2名、理事立会2名）
2024.4.14	全日本トリアスロン支援	宮古大会のエイドステーションにてボランティア（崎浜事務局長参加）
2024.4.15	宮古出張	生年祝い記念品贈呈（3名）、崎浜事務局長参加
2024.4.17	第1回理事会（集合+web）	議案：令和6年度総会・祝賀会の開催、会費改正検討、西江さん特別講演、能登半島地震復旧支援チャリティーゴルフ大会の実施
2024.4.20	八重山出張	生年祝い記念品贈呈（1名）、ボランティア活動取材（崎浜事務局長参加）
2024.4.21	石垣島トリアスロン支援	エイドステーションにて「NTT-OBバンド」が演奏、崎浜事務局長参加
2024.5.23	郵政退職者の会交流会 （沖縄青年会館）	郵政退職者の会祝賀会参加 仲本会長、小波津理事参加
2024.6.8	令和6年度総会・祝賀会 （パシフィックホテル沖縄）	総会参加者：那覇94名、宮古・八重山各3名：オンライン参加 生年祝い：カジマヤー1名、85歳祝6名参加、 【沖縄電友会設立50周年記念事業第1弾】人間国宝西江春氏特別公演 「環境クリーン活動in瀬長島」にNTT社員・グループ152名参加
2024.6.15	NTT西日本グループ	電友会会員8名参加
2024.6.23	全国一斉清掃活動	慰霊の日に通魂の塔参拝、仲本会長他役員3名参加
2024.6.23	通魂の塔参拝	第84回理事会：仲本会長出席、第35回評議員会：村吉相談役出席
2024.7.4	本部理事会・評議員会 （KKRホテル東京）	
2024.7.12	チャリティーゴルフ大会	【沖縄電友会設立50周年記念事業第2弾】能登半島地震復旧支援チャリティーゴルフ大会開催 会員他全94名参加、NTT西日本沖縄支店他協賛企業：22社
2024.7.20	チャリティーゴルフ義援金贈呈 （沖縄タイムス社）	会員からの義援金とチャリティーゴルフの収益金を合わせ30万円を義援金として 沖縄タイムス社を通じて日本赤十字社沖縄県支部へ寄贈（7/21新聞掲載）
2024.7.26	第1回三役会議（書面）	第2回理事会の議題について
2024.7.29	第2回理事会（集合+Web）	審議：ボランティア活動賞推薦、報告・周知：84回本部理事会模様報告 チャリティーゴルフ大会実施結果、バスツアー周知・案内
2024.7.31	NTT西日本との打合せ	エルガナ事務局：エルガナの有償化に向けて意見交換（web）
2024.8.13	会報67号発行	沖縄電友会会報第67号郵送作業、理事等4名参加
2024.8.25	会員西江春氏独演会	国立劇場おきなわ大劇場にて開催：電友会会員20名参加
2024.9.2	会報企業広告営業活動	サンエー本社へ広告掲載営業活動：仲本会長・國吉理事、小波津事務局長
2024.9.11	フードバンク贈呈式	NTT西日本グループが、「NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄」に食料品等 を贈呈、電友会事務局受付、会員9名から食料品24kg、生理用品85枚寄贈 【沖縄電友会設立50周年記念事業第3弾】古宇利島バスツアー実施27名参加
2024.9.20	バスツアー開催	車中クイズ大会、三線サークル生演奏、昼食、貝殻博物館見学
2024.9.28	シンポジウム開催 （イオンライカムスタジオ）	【沖縄電友会設立50周年記念事業第4弾】シンポジウム開催 テーマ：沖縄のICTの過去～未来を語る（琉球電通～電電公社～NTT） 出演：仲本沖縄電友会会長、稲垣純一氏（沖縄ITイノベーション戦略センター理事長） 進行：島田勝也氏（沖縄大学地域研究特別研究員）
2024.10.17	NTT労組退職者の会総会 祝賀会（マリエールオークバイン）	祝賀会に電友会三線サークル10名参加、琉球古典音楽斉唱3曲、 琉球民謡3曲演奏（6名）
2024.10.26	那覇営業OB会開催	NTT那覇ビルOBサロンにて開催、計45名参加
2024.11.13	本部第85回理事会 （KKRホテル東京）	第34回ボランティア活動賞、第10回ボランティア活動功労賞の表彰（審議） 自然災害に伴う被災会員への見舞金の支出にいて（報告）、仲本理事出席 照屋峰一さんボランティア活動賞受賞「ライフル射撃競技の普及・育成と 自治会活動の活性化に取り組む」
2024.11.13	本部ボランティア表彰式 （KKRホテル東京）	第34回ボランティア活動賞、第10回ボランティア活動功労賞の表彰式開催
2024.11.15	第2回三役会議（書面）	祝賀会開催、照屋峰一氏、仲本会長・小波津事務局長出席 第34回ボランティア活動賞の審査決定について
2024.11.21	NTT沖縄支店主催 退職者交流会開催 （ノボテルホテル沖縄）	50周年事業第4弾シンポジウムのYouTube配信について 50周年事業の収支状況について 11/21 NTT西日本沖縄支店退職者交流会支店長表彰について 11/27 相続セミナーの開催について 三線サークルから12名出演：琉球古典音楽3曲斉唱、退職者118名参加 NTT西日本沖縄支店長表彰（4名） ・電気通信功労表彰：村吉政常さん・伊藤彰さん・富川昇さん（欠席） ・ボランティア功労表彰：松田竹徳さん、閉会の挨拶：仲本電友会会長
2024.11.27	相続セミナー開催	OBサロンにて、SMBC日興証券山田様を講師にセミナー実施。7名参加
2025.1.10	情報労連新春の集い参加 （マリエールオークバイン）	情報労連沖縄県協議会新春の集い開催、小波津事務局長参加
2025.1.15	会報68号（新年号）発行	「ゆうメール」にて送付、現役社員・通建会社・サークル員へは手交
2025.1.24	フードバンク贈呈	NTT西日本沖縄グループが、「NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄」に食料 品等を贈呈、電友会事務局受付分：会員12名から食料品32kg、紙おむつ 寄贈32枚、電友会うないを代表して、松田真佐子理事が贈呈式参加
2025.2.1	新春囲碁大会開催	OBサロンにて、5年ぶりに新春囲碁大会開催。トーナメント方式にて8名参加
2025.2.10	本部全国事務局長会議 （NTT神田ビル）	NTT神田ビル（東京）で開催（小波津事務局長出席） 議案：運営補助費、節減施策、女性の活躍推進、会員DB構築、健康講座等 講師料及び報酬料金、入会勧奨ポスターの作成
2025.2.17	ボウリング大会開催	サラダボウル（那覇市）にてボウリング大会開催、6レーン貸切：17名参加
2025.2.27	NTT環境クリーン活動 （NTT楚辺ビル）	NTT楚辺ビル周辺の環境クリーン活動に仲本会長他5名参加
2025.2.28	新入会員勧奨	松田真佐子・上原春美理事、新入会員勧奨（NTT楚辺ビル）
2025.3.4	第86回本部理事会（Web）	議案：令和7年度事業計画（案）、仲本会長（理事）参加
2025.3.4	NTT環境クリーン活動 （NTT城間ビル）	NTT城間ビル周辺の環境クリーン活動に桃原理事、小波津事務局長参加
2025.3.15	福建と沖縄との文明交流会 （ハダ荘）	9時半～イベント開始、キックオフ、くす玉割、基調講演、音楽交流会開催
2025.3.18	新入会員勧奨 （NTT城間ビル）	音楽交流会に仲本会長（尺八独奏・二胡コラボ）、三線サークル8名参加 NTT西日本沖縄支店主催の退職者感謝状贈呈式に出向き、新入会員勧奨 （ごあいさつ文、入会のご案内、入会申込書、電友会会報を配付）
2025.3.26	第3回三役会議 （電友会事務所）	比嘉辰子副会長、松田真佐子理事、小波津事務局長参加
	会長・副会長3、事務局長	（議案）令和6年度事業報告書（案）、令和6年度事業収支見込（案） 令和6年度会計事務監査実施について 令和7年度事業計画（案）・収支計画（案）、理事役員の一部改選について 令和7年度第1回理事会開催（集合+web）日程、総会・祝賀会日程について

重点項目	施策事項等	記 事
1. 総会・理事会の開催	- 令和7年度の総会を6月7日に開催し、4月16日理事会決定事項（7年度事業計画、6年度収支等）を報告する。 - 理事会については、オンライン会議やメール、書面決議等を併用する。 - 宮古＆八重山とは総会・理事会を Web でのオンライン開催とする。	
2. 仲間づくりと楽しい活動の実践		
(1) 生年祝いの実施	6月定期総会に引き続き、生年祝い（数え97・85歳）の祝賀会を開催し、花束＆記念品を贈呈する。 ※欠席者への記念品は郵送する	数え97歳 4名 数え85歳 24名
(2) サークル活動の活性化	- コロナ禍で活動休止となったサークル活動の復活させ、定例化を目指す - 会員のニーズを把握し、新たなサークル結成・募集	「コーラス・カラオケ」等 「街マーイ」 「歌碑巡り」等実施
(3) レクリエーション活動	- グラウンドゴルフ大会（11月） - 囲碁大会（9月・1月） - ボウリング大会（2月） - バスツアー（1月）：カラオケバス2台：80名目標 ※バスで蘇える歌声喫茶	「ランチ&タンカン狩」
(4) 会報誌、HPの充実	会報誌やHPで、各種活動・行事への参加を呼びかけ、会員間コミュニケーションの充実を図る	HPをブログへ変更済
(5) 会員サービスの強化	- 健康講座や遺産相続等シニア層のニーズに合った講演会・セミナー開催 - ドコモショップと連携し、スマホ教室開催 - 手作り味噌講座（7月12日：NTT那覇ビル食堂）	うない活動
3. ボランティア活動による世の中への貢献	- 地域でボランティア活動する会員を本部ボランティア表彰へ推薦 - 地域でボランティア活動する会員をNTT西日本沖縄支店へ推薦し退職者交流会で表彰	
4. NTTグループとの連携と事業協力	- 電友会総会へNTT沖縄支店幹部参加要請 - NTT沖縄グループ事業動向を会報誌へ掲載 - CSR活動（環境クリーン・みどりいっぱいPJ）へ参加 - NTT西日本沖縄支店うないと連携し、フードバンク活動、タオル帽子作り等実施 - スマホアプリを活用し設備110番へ情報提供	うない活動 台風・災害時
5. 自然災害等への対応	- elgana、LINEを活用した災害時等安否確認 - 新たな感染症が拡大した場合は、会報誌・HPで感染予防や生活様式等を周知	
6. 会員の確保と財務の健全化	- HPに新規会員の入会勧奨掲載 - 紹介者への報奨キャンペーン - 電友会ポスターをNTT各ビルへ掲示 - 財務健全化の為、慶弔例規一部廃止 - 既退職者、中途退会者等へ「お元気ですかコール」に併せ入会勧奨	(入院見舞金・配偶者香典廃止)

監 査 報 告 書	
令和7年4月4日に沖縄電同友会事務所に、監事2名で令和6年度の会計監査を実施しましたので、下記のとおり報告します。	
記	
令和6年度沖縄電同友会の収支計算書及び随時簿・証憑書類、預金通帳並びに現金について照会を行った結果、決算は正確であり、予算の執行は適正であると認められました。	
令和7年4月4日	
監事	新垣 賢治
監事	桃原 次男

第5号議案

慶弔および顕彰例規の一部改定について

慶弔および顕彰例規の4.並びに7.を高齢化に伴い情報入手の困難性、公平性の観点から、令和7年4月1日から廃止のこととする。

(例規抜粋)

4. 会員が次のような状況である者で、会長が慰問を要すると認めた者に対しては、5,000円程度の見舞品を贈り慰問する。なお、同一会員について1年を経過すれば再び見舞品を贈ることができる。

- (1) 1カ月以上の病気のため入院し療養を要している者
- (2) 3カ月以上病床にあつて看護を必要としている者
- (3) 言語、身体が不自由で付き添いを必要としている者
- (4) その他、前(1)(2)(3)号に準ずる者で、会長が慰問を要すると認めた者

7. 会員生存中にその配偶者が死亡したときは、香典(3,000円)をおくり弔意を表す。

第2号議案

令和6年度決算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

[収入の部]

単位：千円

[支出の部]

単位：千円

科 目	R6年度 予算額	R6年度 実績額
前期繰越金	0	0
配布金収入	324	324
分担金収入	1,076	834
会費収入	1,030	919
总会収入	500	438
広告収入	662	523
その他収入	525	739
積立金補填	1,039	187
収入合計	5,156	3,964

科 目	R6年度 予算額	R6年度 実績額
会報費	1,250	806
慶弔見舞金	490	411
福利厚生費	280	196
会議費	1,123	1,103
事務費	1,103	767
その他支出	910	681
積立金補填	1,039	187
当期収支差	-1,039	-187
支出合計	5,156	3,964

第4号議案

令和7年度予算(案)

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

[収入の部]

単位：千円

[支出の部]

単位：千円

科 目	R7年度 予算額	前期 実績
前期繰越金	0	0
配布金収入	444	324
分担金収入	900	834
会費収入	890	919
总会収入	450	438
広告収入	530	523
その他収入	886	739
積立金補填	0	187
収入合計	4,100	3,964

科 目	R7年度 予算額	前期 実績
会報費	880	806
慶弔見舞金	440	411
福利厚生費	200	196
会議費	1,136	1,103
事務費	841	767
その他支出	603	681
積立金補填	0	187
当期収支差	0	-187
支出合計	4,100	3,964

第6号議案

役員人事(7月1日付)について

現行(退任)		変更(就任)	
副会長	比嘉辰子	副会長	松田真佐子

※比嘉辰子は理事就任

役職	氏名	役割分担
顧問	古堅 誠	NTT西日本沖縄支店長
相談役	米須 清正	相談役
相談役	比嘉 勝美	相談役
相談役	比嘉 辰弘	相談役
相談役	宇久田 直	相談役
相談役	當山 清則	相談役
相談役	村吉 政常	電友会本部評議員
会長	仲本 榮章	会の総括
副会長	金城 勇	組織強化
副会長	外間 元三	財務強化
副会長	松田 真佐子	うない・広報(会報企画)
事務局長	小波津 忠	事務局
常任理事	国吉 克哉	広報(会報企画)
常任理事	新垣 浩	組織強化
常任理事	上原 裕光	会員確保
常任理事	池畑 和治	レクリエーション・行事
常任理事	上原 正則	レクリエーション・行事
常任理事	金城 永治	eigena災害時連絡網構築
常任理事	金城 惟弘	八重山地区担当
常任理事	松原 徹夫	宮古地区担当
常任理事	新崎 貴也	会員確保
常任理事	慶田 永孝	広報(会報企画)
常任理事	坂名城 明	レクリエーション・行事
常任理事	田中 康将	会員確保
常任理事	知花 賢宜	広報(会報企画)
常任理事	比嘉 辰子	うない活動
常任理事	上原 春美	うない活動
常任理事	城間 一	会員確保
常任理事	奥濱 英勝	会員確保
常任理事	久高 健	会員確保
常任理事	桃原 次男	会計監査
常任理事	新垣 賢治	会計監査

令和7年度
沖縄電同友会役員

令和七年生年祝いの皆様

令和七年の生年祝いは、次の二十八名です。
会員一同より、お祝い申し上げます。

昭和四十年生 カジマヤ（九十七歳）

大 浜 秀
根 間 勇
垣 花 義 唯
儀 間 秀 子

昭和十六年生 生年祝い（八十五歳）

玉 城 正 雄 長 嶺 瞳
村 吉 順 栄 塩 浜 清 子
長 嶺 則 夫 仲 西 猛
俊 久 子 上 地 安 現
平 良 朝 順 兼 城 賢 光
松 川 恒 彦 知 花 阿 佐 子
石 川 清 一 天 願 米 吉
仲 村 通 子 仲 井 間 明 保
前 田 実 井 上 正 之
伊 良 波 長 文 比 嘉 清 保
新 垣 絹 枝 伊 霸 博 義
具 志 堅 栄 孝 村 田 トミ子



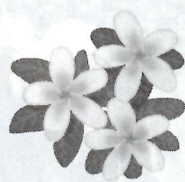
令和六年度 物故会員 十九名

謹んでお悔やみ申し上げます。
ご冥福をお祈りいたします。

氏 名	逝 去 年 月 日	満 年 齢
大 浜 敏 一	令和六年四月十二日	七十八歳
知 花 正 寛	令和六年四月十七日	七十九歳
金 城 健	令和六年四月三十日	九十二歳
山 里 美 代 子	令和六年六月四日	八十九歳
永 山 盛 秀	令和六年六月九日	六十九歳
與 那 原 孫 文	令和六年七月六日	九十一歳
具 志 川 朝 雄	令和六年八月二十四日	九十八歳
東 崎 原 久 子	令和六年九月四日	八十九歳
宮 城 長 景	令和六年九月二十三日	九十二歳
宮 城 保 敏	令和六年十月十四日	八十八歳
玉 城 清 秀	令和六年十月二十一日	七十七歳
照 屋 八 重 子	令和六年十一月四日	八十四歳
湧 川 房 子	令和六年十二月十七日	一〇七歳
高 江 洲 栄 子	令和六年十二月二十四日	八十六歳
古 波 津 里 栄	令和七年一月九日	八十七歳
名 城 伸 太 郎	令和七年一月十七日	九十四歳
中 地 昭	令和七年一月二十日	八十二歳
上 原 勇 成	令和七年一月二十八日	八十歳
大 田 昌 一 郎	令和七年三月二十日	八十五歳

令和6年度総会・懇親会出席者一覧

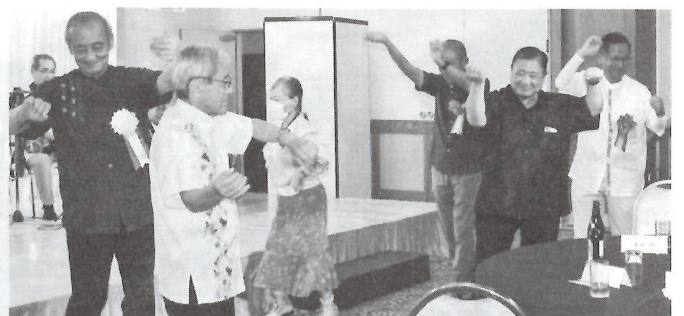
安里桂子	金城勇	徳田敬	宮良周作
天久朝昭	金城永治	俊久子	村田守
新垣浩	金城明右	友利克	望月毅
新垣哲郎	具志栄助	仲里朝勝	與那原正勝
新垣靖	國吉克哉	長嶺則夫	
新垣昌也	慶田永孝	中村明光	【宮古会場】
新垣登美子	小波津忠	中村榮章	松原徹夫
新川善正	佐加伊俊行	仲本榮章	村吉順栄
新崎寛	崎 秀 恒	新垣賢治	奥平功
糸数猛	崎 哲 雄	比嘉辰子	宮國正彦
糸数竹成	崎 原 幸 雄	比嘉定二	与那覇剛
西表安子	島 貞 夫	普久原朝昭	長崎輝義
上原春美	城 田 富 夫	外間元三	川満健二
上原裕光	城 間 一	前泊博次	前川幸生
大城建	城 盛 秋	松 田 淳	下地達也
大城盛	棚 原 康 将	松 田 勝	【八重山会場】
大城英勝	玉 城 正 雄	松 田 竹 徳	新城惟弘
垣花清仁	玉 城 清 美	宮 城 真 佐 子	細工忠郎
片桐政賢	知 花 賢 宜	宮 城 隆 章	石垣吉民
嘉手納正幸	知 念 富 三	宮 城 紀 博	白道直行
上運天澄	照 屋 峰 一		大田次男
嘉陽田美津子	當 真 洋		
儀間朝厚	桃 原 次 男		
許田浩之	渡 嘉 敷 修		
金城明美	渡 嘉 敷 真 雄		



定期総会・生年祝い懇親会開催



令和7年度



古都首里のまちづくり 期成会会長就任

仲里 朝勝 (平成 8 年 3 月退職)

新会長仲里さんが抱負



古都首里のまちづくり期成会
古都首里のまちづくり期成会の定期総会が14日、那覇市首里汀良町のJAおきなわ首里城下町支店ホールで開かれ、新会長に仲

里朝勝さん(80)が選任された。仲里さんは来秋の首里城復元を見据え、「交通渋滞の解消やまちづくりといった環境整備を進めたい。地域が盛り上がるように動いていきたい」と抱負を語った。任期は2年。

「環境整備進めたい」

同日は龍潭と周辺の歴史、現在の整備状況を県の担当者、関係機関の担当者らに聞く講演会もあり、約30人が参加した。

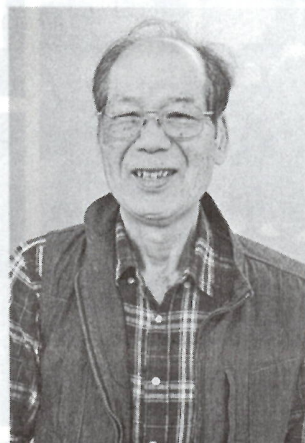
2024 年度沖縄タイムス芸術選賞大賞

大城 稔 (平成 17 年 3 月退職)

優れた芸術活動及び芸術文化の向上に功績があったとして、大城稔さんが2024年度沖縄タイムス芸術選賞書芸部門で大賞を受賞しました。

型から抜け太い線追求

書芸 大城稔さん



兄の影響で書道を始めて半世紀余り。昨年、大規模な個展を初めて開いた。「手本にこだわり過ぎると筆が動かない」。弟子たちには、型から徐々に抜けるよう指導する。

スピード感を大切に、形にこだわらず、太い線の魅力を追求する。「古典を背景にした、自身の顔が見える作品を目指したい」

◇ おおしろ・みのる 1948年、今帰仁村生まれ。浦添市在住。

活躍する会員

中国福建と沖縄との文明対話（音楽交流）に参加

令和7年3月15日（土）、那覇市の八汐荘にて中国から20名余りが来沖し、会員の縁で文化交流に参加しました。

当会の仲本会長の尺八独奏、三線サークル8名による琉球古典音楽斉唱、また、二胡と尺八・三線とのコラボで、福建との文化交流を盛り上げました。



通魂の塔参拝

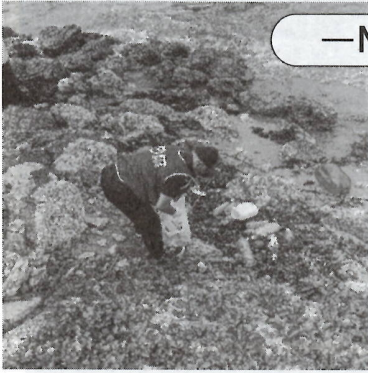
(令和七年六月二十三日)

慰霊の日に沖縄戦で犠牲となった通信職員の慰霊祭に仲本会長、金城勇・外間元三副会長、小波津事務局長が参拝し、献花・焼香を行いました。



「環境クリーン活動 in 瀬長島」に参加

—NTT西日本グループ全国一斉清掃活動—



令和7年6月14日（土）、瀬長島ビーチ付近にて会員7名・家族2名が参加し、清掃活動を行いました。

当日は、NTTグループ社員・家族含め154名が参加し地域貢献しました。



石垣島トライアスロン大会でボランティア

令和7年4月13日（日）、石垣島トライアスロン大会でNTT応援ブースにてNTTOBバンドが演奏し、また、会員の勢理客マチ子さんがフラダンスで選手を激励しました。

また、ランコース沿道では、NTTグループ社員とともに電友会会員が水補給等ボランティアとして活躍しました。



ボウリング大会開催

令和7年2月17日(月)にサラダボウルにて、久々にボウリング大会を開催しました。

17名(男8、女9)が、日頃の腕を発揮しました。

全員で準備体操の後、2ゲーム・アメリカン方式により行った結果、348点で棚原勇さんが見事に優勝。

第2位 西表 安子さん 307点

第3位 上原 正則さん 302点



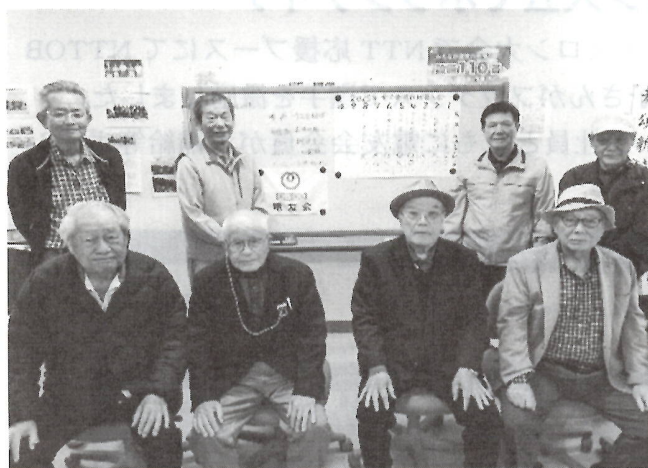
新春囲碁大会開催

令和7年2月1日(土)13時からOBサロンにて5年ぶりに囲碁大会を開催し、8名が熱戦を展開し普久原朝昭4段が優勝しました。

準優勝 嘉陽田 朝正さん

第三位 新川 善正さん

また、宮城章さんから金一封の寄贈がありました。



(お知らせ)

2025年囲碁大会の開催について

・とき 令和7年9月27日(土)
13～17時

・ところ NTT 那覇ビル OBサロンにて

・参加費 千円

・その他 賞品あり、茶菓子用意してます。

※参加希望者は、事務局(小波津)831-2086
まで連絡願います。

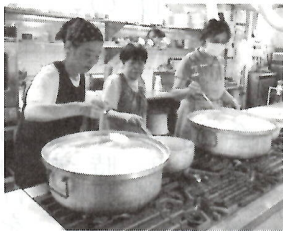
「電友会うない」 たより

1. 味噌づくり講習会開催 (R7.7.12)

NTT 那覇ビル食堂にて、女性会員 11 名が参加して味噌づくり講習会を開催しました。

今回は、予め煮た大豆・麴・塩を混ぜて厚手のビニール袋に仕込み 2 か月ほど熟成させると美味しい味噌が出来上がります。

毎年、この時期に開催していきますので、皆様の参加をお待ちしています。(講師：比嘉辰子)



2. フードドライブ活動 (年 2 回)

県内の困窮家庭へ経済的支援をするため食料品や洗剤・生理用品・紙オムツなどお中元等で頂いた使用見込みのない品を NTT うないと連携し、フードバンクセカンドハーベスト沖縄に寄贈しています。

電友会では、年 2 回 (旧盆・正月あと) 事務局 (NTT 那覇ビル 3F) で収集しています、皆様のご協力宜しくお願いします。

3. タオル帽子づくり講習会開催 (R7.11.11 予定)

抗がん剤治療により、髪の毛が抜け落ちる患者さまのため、NTT うないと連携し、タオル帽子を作成して毎年 12 月に、中頭病院へクリスマスプレゼントとして提供しています。

電友会うないでは、この取り組みを継続していくため、事前に講習会を開催しますので、タオル持参のうえ多くの皆様の参加をお待ちしています。

※タオルは、白地と企業広告は避けて下さい。

なお、講習会は、令和 7 年 11 月 11 日 (火) 13 時 30 分から NTT 那覇ビル 3F OB サロンにて行います。



4. お楽しみバスツアー (R8.1.30 (金) 予定)

ホテルランチブッフェと車内カラオケ・ビンゴゲーム、桜見学、タンカン狩りとメニュー盛沢山の日帰りバスツアーを来年 1 月下旬に計画しています。

今回は、大型バス 2 台を貸切、定員 80 名を目標に取り組んでいきます。

また、中部方面の方も参加できるように途中乗車地を設けて、多くの会員が参加できるよう工夫いたします。年内申込順に定員に達し次第〆切とさせていただきます。

詳細は、企画がまとまり次第沖縄電友会ホームページにてお知らせ募集します。



近況・雑感

令和七年度生年祝いの
方々の近況等お声をお届け
しました。

お礼の言葉

垣花 義 唯

(カジマヤー)

(平成二年六月退職)



この度は、生年祝いの記念品
をいただきありがとうございます。
す。

戦時下、台湾通信講習所に進
学したことから、縁あって電電
公社に就職、以来、電報業務一
筋に退職を迎えました。そのこ
とは私の人生を意味あるものに
してくれました。

そして今、折々に届く電友会
などからの便りはNTTのOB
という誇りをもたらすもので
す。改めて感謝申し上げます。

さて、齢九十六歳一人暮らし
の身となり寂しさもあります
が、県内、県外に住む子や孫達

の助けを借りながら頑張ってい
ます。

時代の変化に戸惑いながら、
テレビが友となり、大リーグで
活躍する大谷選手など、孫らと
会話を楽しむ日常は幸せであ
り、ありがたいと思う日々です。
最後にNTTの発展と、世の
中の安寧を祈って、お礼の言葉
とさせていただきます。

ありがとうございます

知花 阿佐子

(昭和四十七年五月退職)



この度は、電電同友会より巳
年のお祝いをいただき感謝申し
上げます。

在職が短い私が受け取ってい
いのかとの思いもありますが、
皆様のお蔭で大過なく過すこ
とが出来、この場をお借りして
感謝をお伝えすることができ
ることを嬉しく思います。

私は琉球電電公社に入社した
のは一九六六年です。大学卒業

後、米国陸軍軍司令部に勤務し
ましたが、当時、瑞慶覧までの
通勤事情が不便だったため、公
社の試験を受け入社しました。
配属されたのは総務局総務課で
翻訳・通訳の部署でした。

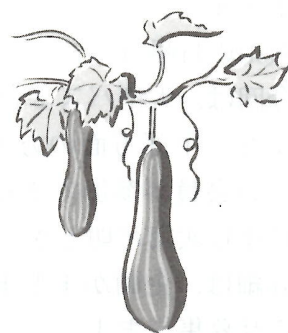
当時はまだ琉球政府時代で、
社会インフラは十分でなく、電
話設置に時間がかかる中、外国
籍の方々から「電話加入に」袖
の下 (under the sleeve) が
必要か?」といった問い合わせ
があるなど、その翻訳や通訳が
私の主な業務でした。

現在の国道58号線は「軍用道
路1号線」と呼ばれ、工務局は
電話線設置工事の前に米国民政
府USCARの許可を得る必要
がありました。道路の掘削や敷
設、転圧などUSCARの厳し
い検査があり、工務局の皆さん
は大変なご苦労をされていたと
記憶しています。

今振り返ると、通訳者として
電気通信事業に関する勉強不足
を痛感し、申し訳なく思い反省
の思いです。翻訳・通訳は私一
人でしたので、仕事では他局の

方々にも助けられ、支えられま
した。

当時は父(故新城信一)も公
社に勤務しており、そのつな
がり父の同僚や親しい方々から
は、私に対して、仕事上の教え
やアドバイス、更に忠告の言葉
をいただきました。そのような
ことから、父新城信一は、本
当に素晴らしい先輩や同僚、後
輩に恵まれていたのだと実感し
ています。父は、戦後の沖縄復
興期に、幸いにも琉球電信電話
公社の設立時から日琉マイクロ
回線や海底線敷設等といった事
業に携わることができました。
しかし、それ以上に周りの方々
や後輩の皆様に恵まれ、人生を



楽しく過ごせたことを、家族として心から感謝しています。父は退職後も公社の仲間たちと集い、囲碁や旅行などを楽しみ、九十二歳まで、その繋がりの中で人生を過ごさせていただきました。親子二代にわたり、電電公社には大変お世話になり、感謝しかありません。心から感謝申し上げます。

最後に、NTTをはじめ沖縄電電同友会の益々のご発展と、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

関心は健康維持

具志堅 栄 孝

(平成九年三月退職)



若い時は健康維持に関心も薄く、暴飲暴食はあたり前であった。大多数がそうであると思う。

後期高齢者になる頃から体力の衰えを感じるようになる。更に八十代に入ると体調不良も出るようになり、健康について一

段と関心を持つようになる。

介護などの世話にならず、自分の体力で日常生活が送れるように努力しなければならない。

健康関連についての情報は多くあるので、自分に合っているものを見つけ長く続けることが肝要と思う。

何事も持続させるには、そのものが好きで楽しいものでなければならぬので、好きな健康法を見つけたいものである。

私は心地良く続けていることがある。毎朝六時三十分からのラジオ体操と、昼間のウォーキング。この二つは健康貯金という位置づけで、無理をせず楽しんでいる。

NHKラジオ第一放送で五時三十五分から四十分までの間に健康ライフという番組がある。月曜から金曜までで、テーマは一週間ごとに変わる。その番組からの情報も参考にする。

一日のうちで一番血流が悪いのは「就寝中」だという。朝六時三十分からのラジオ体操をすることによって、体内の血流を

活発にしてくれていると信じて体操を続けている。

番組で語る医療の専門家は、ウォーキングなどの運動について「魔法の薬」と表現する。

運動は病氣予防の効果大と異口同音に強調する。運動が病氣予防の基礎的な要素であることを認識させられる。

私の場合、健康貯金を減らさないようにと、体を動かすことや、又食事については高齢者は特に必要と言われるタンパク質の摂取、そして日常生活における充実感、これら三つを基本として、健康維持に心がけている。

一日の中で何か楽しいことや嬉しいことがあれば、充実感は得られると思う。

介護を受けたり寝たきりになったりせず、日常生活が送れる期間を「健康寿命」という。

全国男性七十二歳、女性七十五歳。沖縄男性七十一歳、女性七十四歳が今の健康寿命となっている。

健康上の問題で日常生活に影響がないようにするため、意識

した行動をとり続けたいと思う。それが日々の明るい気持、前向きな気持につながり、心身共に健康に結びついていくような気がする。

八十五歳のお祝いを受けて、残り時間の少なさを実感することになったが、不安や消極的な気持はない。

自分ファーストを意識しながら諸々のことに対応していけば、自分流の刺激を感じながら生活を送ることができと思う。

心に刺激を感じる生活をすることは、老化遅延(アンチエイジング)につながることでしよう。

健康寿命を持続させ、長きにわたり自力による生活を目指したい。

さて、今は亡き先輩方と一緒に電友会との関りを持ってきましたが、時が経ち、電友会の世代交代が進んだ。これからますますのご発展を期待します。生年祝をいただきありがとうございます。



玉城 正雄

(平成十四年三月退職)



電友会定期総会
において八十五
歳のトウシビー
祝いをして頂き

ありがとうございます。いつ
もは三十代とっておりますの
で、八十五歳のトウシビー祝い
とはビックリです。
本当に有難う御座いました。

トウシビー 生まれ年を迎えて

村吉 順栄

(平成六年十二月退職)



一九四一年(昭和十六年)、
太平洋戦争勃発の年に宮古島
下地町に生を受ける。生まれ
年(トウシビー)は厄年と言わ
れているので健康には気をつけ
るようと、祖母や父母からよ
く聞かされていた。その厄年を
くぐり抜け八十五歳の生まれ年

(トウシビー)を迎え「命ど宝」

を実感しています。更に電友会
様より多大なお祝いもいただき
大変感謝しております。有難う
ございました。

近況としては、毎朝妻と六時
三十分のラジオ体操で一日が始
まります。

午前中は車で十分〜十五分か
けて下地在の実家へ、小さな畑
で野菜等の植えつけや手入、実
家周辺の清掃作業等。午後は
二十年前実家で開設した三線教
室で過ごす。

月に一度のNTTOB会のグ
ランドゴルフや懇親会各サーク
ル等等出会い触れ合いを大切に
情報交換の場としている。

健康法らしきものは特にして
いない。健康であり続けたいと
願うばかり。

末筆になりましたが電友会並
びに会員皆様の益々の御健康と
御発展をお祈り申し上げお礼と
致します。



上地 安現

(平成十四年三月退職)

家族皆のおかげで日々楽しく
元気に過ごしています。私の健
康法は、現役の頃から趣味で続
けていたヨガを週一回やってい
ます。

晴れた日には、故郷の宮城島
まで海中道路を歌を歌いながら
家族とドライブするのが楽しみ
です。記念品もどうもありがと
うございました。皆様のご健勝
をお祈り申し上げます。



仲井間 明保

(平成十四年三月退職)

トウシビーを迎えて毎日が忙
しくて年のことは忘れていまし
た。もう八十五歳になったのか。
(近況報告)

特に変わったことはありません
ん。毎日元気に動きまわってい
ます。

(私の健康法)

朝一番で今日の予定を立て、
それにしたがって一日動く。一
日が短く感じる。
毎日二〇〇〇〜三〇〇〇歩あ
るいている。

(お礼の言葉)

サンエーからウナギを買って
家族で夏負けしないように体力
をつけました。
有難うございました。

メッセージ



長 嶺 則 夫

(平成十二年十二月退職)



NTT在職
三十七年の間、
大きな病気や大
過なく過ごして

これたことに感謝したい。退職
後は、電通共済会や職業能力開
発協会で二、三年勤めた後フ
リーとなりました。

健康管理には特に気を配り、
ウォーキング、空手等を続ける
よう努めています。

トウシビーのお祝いをして頂

き、こころより御礼申し上げま
す。



天 願 米 吉
(平成十二年十二月退職)

このたびの記念品ありがとう
ございました。これからも体に
気をつけて、元気で生きていき
たいと思います。

「トゥシビー」

俊 久 子

(昭和五十八年十二月退職)



この度は、
トゥシビーのお
祝い金と豪華な
食事に高価な記
念花束を頂きまして誠に有難う
ございました。私は、波の上に
あった工務交通局から那覇市与
儀への新社屋移転の頃旧電電公
社社員となりました。その頃の
与儀十字路周辺の様子は現在と

は一変しており一口では語れま
せんが、只、「南方連絡事務所」
と呼ばれる日本政府の組織があ
り、変わった光景と何故か記憶
に残っています。その後、外人
商社に勤める夫と婚姻して、子
供五、孫十、ひ孫一に恵まれた
大家族を形成するに至りました
。幸いなことに子供達全員県
内で平穏な生活の場を築いてお
り安堵しています。

夫は子や孫に資格取得を薦め
て、外人との婚姻など興味本位
から生じるもので意思疎通等出
来ないと断定して、子や孫たち
から疎んぜられている始末で
す。又、申し分ない資格を取得
しても関心のある分野に進む子
もいて、人生上手くいかない
と嘆いているようです。最後に会
の進行を司って頂いた事務局
長、来賓の方々のお言葉には深
く感謝し、更に、三線サークル
皆様の斉唱、尺八による合奏・
独奏には日頃の皆様の努力によ
る賜物といたく感銘を受けまし
た。皆様のご健康を心からお祈
り申し上げます。

NTTだより

太陽と海とジョガーの祭典 「第38回NAHAMマラソン」 が開催されました！

12月1日(日)、太陽と海と
ジョガーの祭典「第38回NAH
Aマラソン」が開催され、NT
T西日本グループ沖縄エリアの
社員の皆さん約60人が、エイド
ステーションでのボランティア
活動に参加しました。

38回目となる今大会は、ゲス



子どもたちも給水活動を頑張りました

トスターターに沖縄県出身の人
気お笑い芸人ガレッジセールの
お二人を迎え、NAHAMマラソ
ン協会の知会長(那覇市長)
と共に、「万国津梁の鐘*」を
鳴らし、午前9時に那覇市の国
道58号線明治橋交差点前からス
タート。ランナーは、制限時間
の午後3時15分までの完走をめ
ざし、それぞれのペースで、沖
縄県南部エリアの5市町(那覇
市、南風原町、八重瀬町、糸満市、
豊見城市)を通る42.195
kmのコースを走り始めました。

*万国津梁の鐘とは、「首里
城正殿の鐘」の別名。琉球
王国時代の一四五八年に鑄
造された和鐘。国指定の重
要文化財。

一九九八年から特別協賛をし
ている沖縄支店では、中間地点
の糸満市の平和祈念公園前で、
約60人の社員やその家族がボラ
ンティアブースを運営。給水や
みかん、塩飴、黒糖などをラン
ナーに提供し、ランナーの走り
をサポートしました。なお、大
会当日の沖縄は快晴で、最高気



ラジオ中継後、RBCi ラジオのレポーターと

温が24度まで上昇。あまりの暑さにボランテアブースで走り止めて水分を補給してから再びゴールをめざす、というランナーも多く見られました。

今回もボランテアブースには、RBCiラジオの中継が入り、古江支店長が出演。ボランテアに参加した皆さんで「応援隊」を結成し、パーランクー（手持ちの片張り太鼓）や指笛で盛り上げ、ラジオ番組からもランナーにエールを送りました。

た。

また今大会には2万1438人がエントリーし1万4067人が完走。NTTグループからも沖縄県内外の社員や退職者約80人が出場し、多くの皆さんが完走されました。ゴール地点に設けられた沖縄支店のブースでは、琉球ガラスのメダルと完走証を持って記念撮影を行い、お互いの健闘を称え合う姿が印象的でした。

沖縄支店では、これかもNTTグループ一丸で、地域活性化に取り組んでいきます。

「ICT SOLUTION DAYS in 沖縄」を開催しました！

12月17日（火）、沖縄産業支援センター（那覇市）において、「ICT SOLUTION DAYS in 沖縄」を開催しました。

当イベントは、ICTを活用したソリューションや情報機器などの導入を検討する民間企業のお客さまを対象に、最新のソリューションを展示し、操作方



生成 AI コーナー、デモ画面を操作して説明

法などを実際に体験できる展示会となっています。

会場では、沖縄の労働力不足解消に向け、DXで効率化していく「業務プロセス効率化」や「セキュリティ対策」など11テーマの21ブースでさまざまなソリューションを紹介しました。

イベントの注目商材として、「セキュリティソリューション」では、外部からの脅威をブロックし、万が一、ウイルスに感染した場合でも、内部から情報漏洩を最大限に阻止する「セキュリティおまかせプラン プライム Plus」や「ルーターおま

かせプラン」を展示。「勤怠管理／業務効率化ソリューション」では、業務プロセスを効率化できる「業務効率化DX」などを展示しました。また、生成AIサービスやAIロボット、メタバースなど、先進的なサービスを体験できるブースも設置しました。

来場者は、実機を用いた説明員の話を熱心に聞き、導入効果を質問するなど、時事ネタを捉えたタイムリーなソリューションに大きな関心を寄せていました。

さらに、昨年続き、営業担当者やスタッフ、ブース説明員など、関係者全員で沖縄支店のオリジナルかりゆしウェアを着用することで、会場内の一体感を演出しました。

来場者アンケートでは、「ニーズに合った説明をしていただき、短時間にもかかわらず、多くの情報を知ることができた」「最新技術を知る良い機会になった」「営業担当者や説明員の対応が良かった」などの感想

をいただきました。

営業担当者による招待活動や新聞・テレビ・ラジオを活用した告知などが功を成し、当日は94社（達成率111.9%）、150人以上のお客さまが来場。販売実績は目標金額を250%も上回るなど、大盛況に終わりました。

また、本展示会の模様は、地元テレビ2局で報じられ、西日本グループのプレゼン



目標額を大きく上回り、関係者全員でポーズ！「嬉^{うれ}シーサ〜!!」

スの向上にもつながりました。沖縄支店では、これからも、ICTを活用した新たなソリューションの展開やDXの推進を通じて、沖縄社会の課題解決や地域振興などに貢献していきます。

【うない】ご協力に感謝！中頭病院にタオル帽子256枚提供！

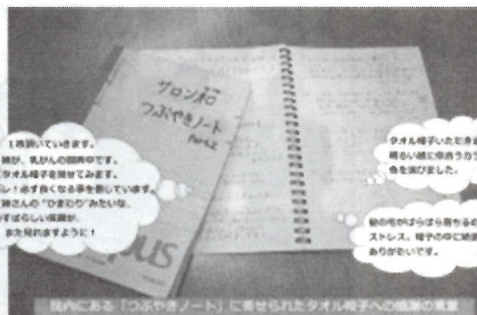
「うない」グループ*は、12月13日（金）に、沖縄市の社会福祉法人敬愛会 中頭病院へクリスマスプレゼントとして、タオル帽子を提供しました。

「うない」グループでは、2018年よりタオル帽子の提供活動が続けており、今年度は10月～11月を「タオル帽子作成期間」と設定。県内5ビル（城間、楚辺、寄宮、名護、勢理客）およびうないメンバーの所属部署などにタオル生地回収BOXを設置し、社員やそのご家族の皆さまに対して、タオル生地の提供・作成を呼び掛けた結果、過去最高となる256枚（城間

43枚、楚辺113枚、寄宮・名護84枚、勢理客16枚）のタオル帽子が集まりました。

多くの皆さまのご協力により集まったタオル帽子を届けるために、うないグループリーダーの仲宗根さん、事務局の金城さん、うないメンバーの田中さんの3人が中頭病院を訪問。仲宗根さんは、「中頭病院の皆さまがタオル帽子を必要としている方々へ届けてくださることに心から感謝を申し上げます。また、私たちもタオル帽子を作成できることを大変うれしく思います。これからも「うない」グループは、少しでも皆さまのお役に立てるように活動してまいります」とあいさつし、タオル帽子を手渡しました。

中頭病院の金城 カオリさん（緩和ケア認定看護師）からは、「毎年、これだけのタオル帽子を提供いただき、ありがとうございます。当院では、タオル帽子を必要とする方々が多いです。市販のものはありますが、タオル生地の帽子は少なく、と



「つぶやきノート」に寄せられたタオル帽子への感謝の言葉



クリスマスプレゼントとして、仲宗根さん（前列右）から看護師の金城さん（前列左）にお渡ししました

でも喜ばれています。ありがとうございます。うなぎいます」と感謝の言葉をいただきました。

院内に設置されている「つぶ

やきノート」には、「髪の毛がばらばらと落ちて困っていたが、タオル帽子があると収まるのでありがたい」「明るい娘に似合うカラフルな色の帽子を選びました」「闘病中の姉のために1枚頂きます。姉さんのひまわりみたいな笑顔を早く見たいです」など、たくさんのお患者さまからの感謝メッセージが書かれています。

また、当日は、メディアの取材を受け、テレビや新聞で取り上げられ、沖縄県の皆さまのタオル帽子に対する認知度の向上にも貢献しました。

“うない”グループは、これからタオル帽子を必要としている方々に、少しでも喜んでいただけるよう、支援の輪を広げながら、SDGs活動の一環として、タオル帽子の作成活動を継続・推進し、地域社会に貢献していきます。

*NTT西日本グループの沖縄エリアで、SDGs活動を牽引する女性委員会。フードドライブ活動やタオ

ル帽子の寄贈など、さまざまな社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。

沖縄県浦添市と災害時における相互連携に関する協定書を締結しました！

NTT西日本沖縄支店は、1月22日（水）に、沖縄県浦添市（松本哲治市長、以下、浦添市）と、災害時における通信故障などの早期復旧に向けて、「災害時における相互連携に関する



締結式の様子

協定書」（以下、連携協定）を締結しました。浦添市役所で開催された締結式には、古江支店長や住谷設備部長などが出席しました。

沖縄支店では、日頃から、通信設備の強化や災害時における早期の復旧活動に取り組んでいます。2023年台風6号の復旧活動では、広域支援体制のもと、全国から到着するバケット車の駐車スペースの確保など、復旧活動の拠点づくりに関する苦勞がありました。そのため、復旧活動の拠点となる城間ビルが所在する浦添市に災害復旧活動の相互連携について相談し、この度、連携協定を締結することになりました。

締結式では、浦添市 防災危機管理課から、協定の概要を説明した後、松本市長が「通信は、電気や水道、道路に並び、市民生活の基盤を担っており、本協定を通じて、通信の復旧活動がより早くなることを期待している。また、NTT西日本 沖縄支店が浦添市にあることは、非

常にラッキーなことであり、災害時だけでなく、日頃から連携を深め、市民の皆さまが安心して暮らせるように努めていきたい」とあいさつ。

続いて、古江支店長は、協定締結にご尽力いただいた皆さまへの感謝を述べつつ、「本協定のもと、浦添市さまと相互に連携・協力して対応することで、被災した通信設備のより迅速かつ効率的な復旧活動が可能になる。住民の皆さまがより安心して暮らせる環境づくりに貢献していきたい」とあいさつしました。



締結式の終了後、関係者一同で記念撮影



廣瀬室長（写真左）と仲本さんの
息の合った演奏で観客を魅了

「日本の春はここから始まる」をキャッチフレーズに、「名護

た。
今後は、災害復旧活動の連携訓練の実施や連絡会議の開催などを積極的に行うことで、連携を強化し、大規模災害時の早期復旧をめざします。
沖縄支店では、これからも、つなぐ使命のもと、さらなる通信設備の強化や迅速な災害復旧活動に努め、地域の皆さまの期待・信頼に応え続けられるように貢献していきます。

名護さくら祭り「第39回二見情話大会」へ出場！唄と三線で観客を魅了しました！

さくら祭り」が1月25日（土）～1月26日（日）に、名護城公園やさくら公園などを会場に開催されました。また、1月25日（土）には、さくら公園のお祭り広場特設ステージで、名護市の二見区の伝統民謡である二見情話の歌唱力を競う「二見情話大会」が開催され、沖縄支店からは事業推進室の廣瀬室長と、BSカスタマーコンタクトセンタ8G（名護）の仲本如子さんペアと、地謡（伴奏者）として、BS事業推進担当の中嶋課長・営業推進担当の平田由美子さんの4人が出場しました。
今回出場した廣瀬事業推進室長は、12月1日（日）のNAHAマラソンでフルマラソンを完走した後から、ウチナーグチ（沖縄方言）の唄や三線に挑戦。週に1～2回、ペアを組む仲本さんの勤務地の名護市で練習を重ね、本番に臨みました。
本番では、お二人の息の合った唄と三線を披露し、地謡の中嶋課長と平田さんも加えた4人の演奏は、会場を埋め尽くした



本番前に応援に駆け付けた皆さんと記念撮影

観客を魅了しました。
また、当日は多くの社員が応援に駆け付け、舞台前で横断幕やメッセージボードを持ち、演奏に合わせて応援。観客席の社員も手拍子や指笛で4人を応援しました。
惜しくも入賞は逃しましたが、出場した皆さんは、無事に演奏を終え、達成感でいっぱい。の晴れやかな笑顔を見せていました。また、応援に駆け付けた社員たちとねぎらいの言葉を掛

け合うなど、沖縄支店が一体となった演奏会になりました。
出場された皆さん、応援に駆け付けた社員の皆さん、お疲れさまでした！

「うない」第18回フードドライブ活動！食料品などの贈呈式を開催！

NTT西日本沖縄支店では、1月6日（月）～20日（月）までの間、食品などの提供を呼び掛ける「フードドライブ活動」を実施し、24日（金）にNPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄への贈呈式を開催しました。

NTT西日本沖縄支店では、SDGs活動に積極的に取り組み「うない」グループがフードドライブ活動をけん引。2016年度以降、毎年、お正月（1月）と旧盆（8月から9月）の時期に継続的に実施し、今回で通算18回目になりました。NTT西日本沖縄グループの社員やその家族、退職者の皆さまにご協力いただきながら、年々、



NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄へ贈呈
(前列左:古堅うないGリーダー、同右:奥平代表理事)



城間ビル8階の皆さん
(中央奥:古江支店長)

支援の輪が広がり、活動が定着しています。
近年では、食品だけではなく、幼児用・介護用の紙オムツ、女性の生理用品、洗剤、シャンプー

などの日用品の提供も増えており、フードドライブ活動は、ますます地域貢献に欠かせないものとなっています。

今回も、NTT西日本沖縄グループのオフィスビル6拠点(城間、楚辺、勢理客、与儀、南風原、名護)と電電同友会の事務所などに回収ボックスを設置。社員やその家族、退職者の皆さまに多大な協力をいただき、約301.4kgもの食品や1,493枚の生理用品などをご提供いただきました。

ご提供いただいた食品などは、古堅グループリーダーを中心とした「うない」メンバーから、24日(金)に、NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄へ寄贈しました。

奥平代表理事から「昨今の物価高騰の影響で、食品などの寄付が少なく運営が厳しい中、NTT西日本 沖縄グループの皆さんからいただいた支援の品々は本当にありがたいです」と感謝の言葉をいただきました。

寄贈した食品などは、セカン



協定書を持つ長浜村長(左)と古江支店長(右)

恩納(おんな)村のむらづくり推進に向けて「ICT連携協定」を締結!

ドハーベスト沖縄を通じて、60世帯(延べ180人)の方々に届けられました。
NTT西日本 沖縄支店では、今後も「うない」グループを中心に、フードドライブ活動に積極的に取り組み、沖縄県の地域の活性化や社会問題の解決に貢献していきたいと思っています。
次回のフードドライブ活動は9月に実施する予定です。

NTT西日本 沖縄支店と恩納村は、ICTを活用して恩納村の理想とするむらづくりを実現するため、「恩納村のむらづくり推進に向けたICT連携協定」を締結しました。
2月27日(木)に恩納村役場で開催された締結式には、恩納村から、長浜村長や宜志富教育長をはじめ、関係者が出席。また、沖縄支店からは、古江支店長や古堅ビジネス営業部長、沖縄振興推進部門の安慶名部門長と林課長たちが出席しました。
代表者あいさつで、長浜村長は、「この日を迎えられたこと



関係者一同で記念撮影

を大変うれしく思います。今後、NTT西日本と共に、観光や行政、エネルギー分野を中心に、多岐にわたる分野でICTの活用を推進し、恩納村の理想のむらづくりを実現していきます」と期待を寄せました。

続いて、古江支店長は、「弊社は、本年3月に恩納村で光サービスの提供を開始します。今回のICT連携協定のもと、整備した光通信基盤とこれまでに培った技術・ノウハウを最大限に生かしながら、恩納村がめざす理想の村の実現に貢献できるように、取り組んでいきます」とあいさつしました。

締結式には、新聞社やテレビ局が取材に訪れ、社外プレゼンスの向上にもつながりました。今後、恩納村と沖縄支店は相互に連携し、ICTの力で、地域や自治体のDX推進や観光産業の振興などに取り組むことで、恩納村のビジョン「恩（めぐみ）の青豊かな緑輝く人々未来へつなごう恩納村」の実現をめざします。

「石垣島トライアスロン大会2025」開催エイドステーション運営で大会をサポート

4月13日（日）、「石垣島トライアスロン大会2025」が開催され、沖縄支店では、エイドステーションの運営や、退職者などで結成されたバンドの演奏を通じて、大会の盛り上げに貢献しました。

NTT西日本は特別協賛社として大会運営をサポートしており、本大会は「2025NTTエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ」



古江支店長は三線担当でOBバンドに参加
古堅ビジネス営業部長は歌で選手を応援！

の第1戦です。石垣市の南ぬ浜町人工ビーチ内でのスイム（1.5km）をかわきりに、市街地を駆け抜けるバイク（40km）とラン（10km）のコースが設定され、スターターを務めた古江支店長の合図で大会がスタートしました。

沖縄支店では、今回もランコースの石垣市中央運動公園内にエイドステーションを設置し、58人の社員・退職者の皆さんがボランティアに参加。テントの設置やペットボトルのラベル剥がし、ドリンクの冷却など、大会の前日と当日早朝に多くの準備事項がありました。また、恩納村とF.T.八重山センタの社員を中心に、手際よく準備を進め、滞りなくエイドステーションを開設できました。

古江支店長が激励のあいさつを行った後、エイドステーションの運営がスタート。参加者全員で連携し、手際よく、選手の水筒補給をサポートしました。協賛対応のために石垣島を訪れ



ボランティアの皆さんで記念撮影

たNTT西日本 広報室の大石室長、東部長、村井主査もエイドステーションに駆け付け、ボランティア参加者を激励してくれました。

また、本大会には、NTT東西所属で東京パラリンピックメダリストの宇田 秀生選手をはじめ、社員や退職者の計5人が出場。沖縄支店のエイドステーションで水分と笑顔を補給し、皆さん無事に完走されました。

エイドステーションの傍らでは、メディアが毎年取材に訪れるなど大会の名物となっている「NTTOBバンド」が今年も演奏。今回は、古江支店長が三線を担当し、「島人ぬ宝」や「竹富島で会いましょう」など、

石垣島出身のBEGINの名曲を披露。息の合った演奏で、選手の走りを後押ししました。また、退職者の皆さんは、演奏に合わせてパーランクー(小太鼓)を叩き、選手にエールを送りました。地元のテレビ局が応援の模様を撮影・放映し、社外プレゼンスの向上にもつながりました。

これからも沖縄支店は、社員や退職者が一体となって「石垣島トライアスロン大会」を支援するとともに、沖縄県内のさまざまな社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。

「第39回全日本トライアスロン宮古島大会」をボランティア活動で盛り上げました！

4月20日(日)、「第39回全日

本トライアスロン宮古島大会」が開催されました。沖縄支店では、大会の盛り上げや社外プレゼンスの向上を図るために、社員やその家族、退職者など約40人がエイドステーションでボランティア活動を行いました。

本大会は、下地与那覇前浜ビーチでのスイム(3km)から始まり、宮古島や池間島の海沿い(123km)をバイクで1周した後、市街地(35km)をランで周回するという、「鉄人レース」の名にふさわしい過酷なコース設定となっています。宮



雨が降り注ぐ過酷なレース

古島を代表するイベントの一つでもあり、沿道では、地元の学生たちで結成されたブラスバンドの演奏など、宮古島全体が選手を応援するお祭りムードとなります。1,406人のトライアスリートたちは、制限時間(計12時間)以内での完走をめざします。

沖縄支店は、第1回大会から、本大会を盛り上げるべく、BS宮古営業所、FT宮古センタの社員がエイドステーションを運営し、アスリートを支援しています。なお、競技時間が長時間にわたることから、エイド運営は大会前半・後半で分担。沖縄支店は、JAL・JTAGグループからのバトンを受け取り、後半の部を担当しました。

今回は、ランコースの約33km地点、ゴール前最後のエイドステーションの運営を担当。ボランティア活動には、沖縄エリアの社員だけでなく、トライアスロンの出場経験が豊富な沖縄県外の退職者の皆さまや、島内に研究施設を有する東京農業大学

の学生たちも参加し、地域や世代を超えたボランティア活動となりました。

当日は、最高気温27度を記録する夏日でしたが、断続的に雨が降り注いだため、トライアスリートにとっては、コースだけでなく、湿気や体温調整とも闘う過酷なレースとなりました。こうした中、ボランティアの参加者たちは、お互いに連携し、氷水でキンキンに冷えたスポンジやドリンクでアスリート



ボランティア参加者で記念撮影

の身体を冷やしたり、雨で身体が冷えたアスリートには温茶を提供したりするなど、アスリートのコンディションを瞬時に見極め、献身的にレースをサポートしました。レース終盤で疲れ切ったトライアスリートたちは、エイドステーションで体力を回復し、再び完走をめざして、笑顔で走り出していきました。

また、終始にぎやかで一体感のあるエイド運営が報道陣の目に留まり、地元のケーブルテレビやラジオの取材を受け、社外プレゼンスの向上にもつながりました。

沖縄支店は、これからも地域でのボランティア活動に積極的に取り組んでいきます。

ボランティア活動に参加した皆さん、お疲れさまでした！

環境クリーン活動 in 瀬長島 を実施しました！～西日本 グループ全国一斉清掃活動～

6月14日(土)、沖縄支店では、NTT西日本グループの全国一斉清掃活動の一環として、NT

Tグループの社員や家族、退職者など、計154人が豊見城市の瀬長島に集まり、ビーチや周辺道路などで清掃活動を行いました。

本活動が行われた瀬長島は、那覇空港から南へ約20分に位置し、離発着する飛行機を間近で見ることができる海と飛行機のコラボレーションが絶景の観光地としても知られています。また、島内には商業施設やホテル、島の入り口付近には野球場もあり、観光客や地域の憩いの場として多くの人々が訪れる人気ス



清掃活動の様子

ポットです。

清掃活動の開会式では、廣瀬事業推進室長から本活動の趣旨や参加者へのお礼のあいさつがあり、その後、清掃活動がスタート。ごみが最も集積されていた瀬長島の入り口付近の歩道などを清掃し、約1時間の活動で計51袋(1袋30ℓ)のごみを収集しました。

参加した社員からは、「家族で参加しましたが、子どもたちも楽しみながら清掃活動をしていました。また次回も参加したいです」といったコメントがあり、清掃活動を通して、より一層NTTグループの一体感が高まりました。

閉会式では、BS事業推進担当の中嶋課長から、清掃活動を終えた参加者へのねぎらいのあいさつがあり、清掃活動は終了しました。

また、清掃活動の終了後には、参加した子どもたちを対象に、毎年恒例のお菓子の詰め放題も実施。子どもたちがたくさんのお菓子を詰めようと頑張る

姿に、周囲から自然と笑みがこぼれました。

NTT西日本グループ 沖縄支店では、これからも地域に根差した社会貢献活動を推進していきます。

参加者の皆さま、ご協力ありがとうございました！



清掃活動前に参加者全員で記念撮影

南海の孤島に眠る 和文学者

慶田 永孝

(平成四年四月退職)



組踊「手水の縁」の作者であり、落書事件(政治批判)の首謀者の一人とされ、時の三司官・蔡温の怒りを買って三十五歳の若さで安謝の湊において磔(ハリツケ)という残酷な処刑にあった平敷屋朝敏である。

長男の朝良は与那国島で(大宜見朝良)として過(こ)していた。現在でもその子孫は与那国島にいる。

長男の朝良は水納島(多良間

島の北に位置する離島)へ次男の朝助は多良間島へそれぞれ島流しとなり、妻の亀と娘(3歳)は宮城島の上原部落に流され百姓の身分に落とされた。流罪生活は屈辱の日々であったであろう。

水納島へ流された朝良は、後に多良間島に移り、弟の朝助と共に暮らすようになったが妻を娶ることもなく三十一歳の若さで死去したと伝わっている。弟の朝助は島の女性を娶って永住し子孫も繁盛したと伝い、里之子墓は、その一族の墓である。後に朝敏夫妻の遺骨も同墓に納められた。

琉球王国の士族で和文学者であり勝連半島平敷屋の脇地頭であった平敷屋朝敏の名は組踊「手水の縁」の作者として伝えられ広く知られている。

朝敏の組踊「手水の縁」には、題材がある。その題材をより詳しく調べるため先般名護市にある「許田の手水」を訪れた。

「許田の手水」は集落の北はず

れの丘のふもとにありその由来が案内板に書かれていた。

許田の村にたいへん美しい娘がいた。ある日、娘が村の後ろにある「クシノカー」という泉で水を汲んでいると、馬に乗った首里の殿様が通りかかり、娘に水をくださいと声をかけた。娘が(ひしやく)を使ってあげると殿様は「あなたの手で水を汲んでください」といったので、娘は手で水を汲んであげました。そのしぐさと娘の美しさにほれた殿様は、娘を首里に連れていったという話が伝えられている。よってその泉を「手水」と呼ぶようになった。

朝敏は薩摩の支配下における苦難の時代に士族の身分にござることなく農民を初めとした弱い立場の人たちに温かい眼差しを向けた沖縄の和文学者である。

朝敏はそのまま輝かしい出世街道を歩んでいくかと思えたが突然首里から追い出された。

一説には、ある高貴な婦人(王妃とも伝わる)が朝敏を慕って、

密かに彼のもとを訪ね絹の衣を贈ったという噂が世間に広まった。当然国王や、王府の重鎮である蔡温の耳にも入り、家屋敷を没収され職も失った。自らの領地である勝連半島の平敷屋に一年余り移り住むことになった。その後念願叶って朝敏に対する嫌疑が晴れたことで再び首里へ上り王府での仕事を与えられた。冒頭、書き記(しる)した落書事件、王府の体制に関する当時としては容認し難いほどの鋭い批判が記されていたのかも・・・。

王府というあまりにも大きな相手に怯むことなく立ち向かった彼の人生とその作品は、今も多くの人々をひきつけている。

朝敏は有名な作品を遺しながらも、歴史から消された波乱の生涯であった。

あくまでも私見であるが蔡温は独裁者であったと思わざるを得ない。

スーサー

真喜志 彰

(平成十三年三月退職)

自宅マンションの猫の額ほどの狭いベランダに、庭というには恥ずかしいがベンジャミンやサンスベリア、福木、セイロンベンケイソウなどのプランターがある。それらのわずかな緑が庭らしく、日々気持ちを和ませてくれている。

このプランターにも、春になると実をつけてくる雑草が生えてくる。その頃からほぼ毎日のように、一羽のスーサー（和名・インヒョドリ）が雑草の実の餌を求めてやって来る。

スーサーは最近見かけない雀よりは大きく、鳩よりは小さい鳥である。全長は二十五センチ程度の鳥であり、オスはやや濃い青みがかったいて、メスは全体が黒褐色の鳥である。果実や昆虫も食べれる雑食性である。そして中々利口な鳥らしい。

スーサーに詳しい設備部OBのCさんによると、チーズが大好物らしい。Cさんは時々豊見城の豊崎にある公園内をウォーキングしている。休憩している時に、近くにいたスーサーにチーズを投げたところ、すぐに近寄ってきて嬉々として飛びついて食べていたという。

それ以来なじみのスーサーには顔を知られているらしく、手のひらに置いたチーズにも近寄ってきて食べるらしい。それくらい雀と同様に、人に近いところで暮らしている鳥である。

このスーサーは、十一月から二月にかけての寒い冬の時期は自宅マンションの側の雑木林に住んでいて、時々独特のかん高い鳴き声が聞こえてくる。

さて、我が家にやって来るスーサーも人なれしていて、時々ベランダの特定の場所の手すりに止まって、何とも言えないきれいな鳴き声を聞かせてくれる時もあるが、大抵は勝手に糞をして知らんふりを決め込んでいる。それで



雑草とスーサー

洗濯物や布団干しに支障を来すため、特定の場所の手すりに止まっている時は追い払うようにしている。ところが部屋の中から身振り、手振りで追い払おうとしても逃げようとはしない。窓を開けて声を掛けるとやっと飛び去っていくという有様で、中々厚かましく、しぶといところがある。

特定の場所の手すりに糞をするというのは、マーキングをして自分の縄張りを主張しているのかも知れない。

一時期、春から夏にかけてベランダに飛んで来るスーサーを、暇を持て余して退屈しのぎに観察したことがある。スーサーの目的

は、もちろん餌を求めてやって来るのであるが、その餌となるのがプランターに生えている一年生草の名も知らない雑草の実である。その雑草は青じその葉に良く似ていて、春先に白い小さな花が咲き、その後5ミリほどの丸い実をつける。その実が緑から黒に変わる四〜五月頃、スーサーが好んで食べるのである。

食べる時はスーサーも大胆になり、ベランダの床をお邪魔しますと言わんばかりに我が物顔でちよこちよこ歩き回り、こちらが部屋の窓からすぐ近くで見えていても、遠慮なく雑草の実に飛びついて食べるのである。実は沢山付いているのでほぼ毎日やって来る。どうやら同じスーサーらしく、縄張りがある様である。

この雑草が生えてから十数年以上になるが、どうやってプランターに生えてきたのか謎だった。

一つの仮説として、実が出来ることから自然に生えてきたのではなく、スーサーが初めて我が家にやって来て、偶然にプランター

の木の枝に止まって糞をした時、この実も一緒に落としたのではないか。そしてスーサーはある日雑草が成長して実が付いているのに気づいて、これ幸いに我が家を餌場の一つに指定して通うようになったのではないか。

もう一つの仮説は、スーサーが各家庭を飛び回り、適当なプランターのあるところを見つけて、意図的に糞をして雑草を植え付けて餌場を増やしているのではないか。つまりスーサーは雑草の種を蒔いて、その実を収穫して食べるという「農業」をしているのではないか。

私は後者ではないかと考えている。実は、テレビで見た中南米にいるハキリアリのことを思い出したのだ。このアリは、集団で切つて来た葉を巣に持ち込んで、この葉にキノコの菌を植え付けて育て、そしてキノコを収穫して食べているというのである。つまり「農業」をしているのである。アリでも「農業」をするくらいだから、利口なスーサーでも、と

つい考えた次第である。

妻にこの仮説を得意顔で話したら、鼻であしらわれて一笑に付されてしまった。

いい線いっていると思ったが、この奇想天外な仮説はやはり暇を持って余した者の取り留めのない、たわいない空想なのか……

琉球電電から振り返る

米 須 秀 男

(平成六年三月退職)

私は、昭和三十七年九月一日、宜野湾と浦添の郵便局合わせて手動通話を自動電話に様式変更し、大謝名電報電話局が開局した日に採用になりました。

当時、琉大の学生アルバイトとして、宜野湾郵便局で夜間電報請負配達をしていました。きつかけは、高校の先輩で今は亡き国吉眞僚氏から電話を頂き配達員として採用になったわけです。

大謝名局の五年間は上司や先

輩方の支援を受けて勤務しながら、琉大を卒業と局を挙げての結婚式の余興をしてもらい、局長には昇格し難い時期に一級職に上げてもらいました。

また、料理学校に通っていると言って安木ソロバン学校へ行き、ソロバン三級と日商二級を取得、これは後に大いに役立ちました。

昭和四十五年十月に琉球電電本社経理部財産課へ転勤、事務処理はすべて日本電電の赤例規で処理、たいへん勉強になりました。一年後の十月には、専門部業務課共通班を受験させられ、当時三十二歳で二番目の子供が生まれたばかりで、共稼ぎであるにもかかわらず、当時の訓練所長（比嘉秀明）さんに受付期限を過ぎても説得され強引に受験させられ、翌年の四月一日に入学し、日本復帰を挟んで訓練生は私一人であったが、五月十五日に学園長と教程課長・主任教官が昼食に寿司をとってくれて、私一人の為に日本復帰を

祝ってくれました。同時に給与額の高さが話題になり、ボーナスがいくらか学園の事務局では話題になったようです。

その年の十月に卒業し、翌年の二月には管理局の文書広報課係長、二年後に会計課の主計係長（非組）に抜擢されました。九州経理部から鶴田和義課長が赴任され、資料作りや本社経理部対応、管理局長への報告の仕方を指導され、夜は桜坂のおでん屋で飲んで浦添の自宅に送り届けるのが午前二時頃でした。その結果、二人とも毎月糖尿病で医務室に呼ばれるようになりましたが、主計係長が終わる二年後には数値も良くなっていました。

その後、那覇局会計課長に昇格し、二年後、総支社経理部調査員を経て昭和五十五年二月四十一歳で鹿児島報話局会計課長に任命され、新年度の予算作成と主計係の仕事を処理する毎日でした。当時の局長は内藤さんで、九州では人事の「大ボス」

言われた人で周囲から大変ですねと心配されたが出張や部外とのゴルフ等でお供し、打ち解けていきました。

三年目の局長は、建設部長上りの富田さんで九州内でも「怖い人」と知られる人でした、毎日のように局長室に呼ばれ経理と関係のないことまで調査させられました。幹部会議で月次決算が出来ないかと言われ、様式を作成したらこれで良いと言われ、その日以来六部長が毎月の幹部会議の前日は深夜まで資料作りで大変でした。一年後、局長がお前を二段飛びさせるために総支社へ行つてくると言われ、那覇局会計課長以来、六年間昇格したことがなく、人事の時期になると共稼ぎを辞めるようにと言われ、その気は有りませんが言っていました、それが昇格（LからK・J）したということ、総支社まで行つて辞令を貰いました。

その後、那覇搬送調整局次長で団体交渉に臨みました、交渉

案件が社員の学園派遣であつた、局長が「社員派遣を組合が決めるのは可笑しい」と申し述べるのと窓口閉鎖になり春闘交渉もななく五月に管理局労務課長から詫び状を書いてくれと言われ、それを提示、初交渉に春闘要求書が提出されました。職場は、「さんない運動」が激しい所（班長制度が徹底しており）で、課長が簡単に作業のオーダー・命令すると労務問題になる所でした。その後、一年半かけて①出勤時バスの場合、前日にタクシー賃を支給する協約、②専用線の管理者保守等々「闇協約なもの」を正常に戻しました。

それから二年後に秘書課長、その二年後に大謝名局長、また二年後に鹿児島島の宮之城局長、一年半後に沖縄支店第一営業部長を歴任し、五十五歳六月で役職定年となりました。

「一樹の陰に宿り、一河流れを汲むことも、みなこれ他生の縁」

■ 2025 年 7 月 1 日、西日本電信電話株式会社は、NTT 西日本株式会社へ

2025 年 7 月 1 日、CI（コーポレートアイデンティティ）を刷新し、商号を「NTT 西日本株式会社」へ変更するとともに新たなコーポレートロゴを採用しました。

NTT 西日本グループは、新たな CI のもと、「安心・安全・信頼」と「最先端の技術」で豊かな未来社会を共創する『バリュークリエーションパートナー』として、新たな価値創造に挑戦してまいります。

新しい商号

NTTグループの事業ドメインの変容に伴うグループ全体でのCI刷新を踏まえ、国内外で広く浸透し、認知されている「NTT」を採用した「NTT西日本株式会社」に商号を変更しました。

新

NTT西日本株式会社

エヌティティニシニホンカブシキガイシャ
NTT WEST, Inc.

旧

西日本電信電話株式会社

ニシニッポンデンシンデンワカブシキガイシャ
NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

新コーポレートロゴ

商号の変更に合わせて、既存ブランド価値を活かしながら、NTTグループの技術力やキャピタリティを分かりやすく示し、先進的な企業としてのブランド向上を図るため、コーポレートロゴのデザインを刷新しました。

新

 **NTT西日本**

旧

 **NTT西日本**

※当分の間、旧商号・ロゴの表記が一部残る場合があります。



短歌

宮城章

(平成五年三月退職)

平成も令和も平和守り来て
昭和宣戦の非道忘るな

総会に來し旧友は白髪増え
米寿前なり我また同じ

電話するも応答の無き先輩
同輩の顔の見えざる宴会寂し

先輩が居てこそ楽し電友会
長寿の笑顔見たし会ひたし

平良氏追悼三首

勤勉の平良朝順逝く夏の
葬儀遺影の笑顔が可愛い

平良氏は技術課長で碁四段
強く優しき壮年時代

朝順さん後生の友と囲碁打って
電友会を見守りたもれ



俳句

宮城章

(平成五年三月退職)

神天降る様に片降り久高島
かみあもる カタブイ

美ら海の風の涼しや夕汽笛

総会の長老ひとり夏わびし

尺八と俳句写真や夏を祝ぐ

総会の宴ビールを注ぎ交はす

平良氏追悼一句

青嵐や平良朝順急逝す

普久原 朝 昭

(平成二十七年三月退職)

老骨の垢ほろほろと春はきぬ

読経は慰霊の空へ棕櫚の花

太陽雨いつてらっしやーいの声つづく
ていーだあめ



川柳

村吉 政 常

(平成十二年三月退職)

さざ波の光る岸边やうりずん南風
朽つる木の苔艶やかや夏に入る
守り神鎮座の森に夏の蝶

屋良 真利子

(昭和六十年六月退職)

物価高 無駄を省けば 耐えられる
酒よりも 心酔わせる 名セリフ
囲碁夢中 冷めた食事に 妻あきれ
探し物 さつきも開けた 同じ箱
手術台 ああ神様と 手を合わす

沖縄電友会サークル活動のご紹介

サークル名	実施日	場 所
空 手 同 友 会	毎週 日曜日 午前9時～12時	OB サロン (那覇ビル 3F)
ゴ ル フ サ ー ク ル	毎月 第三木曜日 午前6時30分～	沖縄カントリークラブ
マルチメディア同好会	毎月 第一月曜日 午後2時～	絆 (那覇ビル 3F)
尺 八 サ ー ク ル	毎週 火曜日 午後1時30分～	絆 (那覇ビル 3F)
三 線 サ ー ク ル	毎月第二・四土曜日 午前9時～12時	OB サロン (那覇ビル 3F)
	毎月第一・三・五土曜日 午後1時～3時	
フ ォ ト サ ー ク ル	毎月第四火曜日 午後8時～	ZOOM (自宅)
中 国 語 サ ー ク ル	毎月第二・四土曜日 午前10時～	Webex (自宅)
宮古グランドゴルフサークル	毎月 15 日 午後2時～	ビルマスパーク

いずれのサークルも初心者の入会を歓迎します。入会は、年度途中からでも、何時でも出来ますので、ご遠慮なくご連絡下さい。

昔の仲間や先輩達と一緒に余暇を楽しみ、趣味を生かして豊かな人生を共にしたいものです。是非ご入会をお勧めします。又、こういうサークルを作りたいとか、作ってほしいとかの要望がありましたらぜひ事務局までご一報下さい。

☆連絡先 ☎ 098-831-2086 電友会事務局まで
メール okiden@mocha.ocn.ne.jp

《俳句サークルより》

***** 俳句・短歌ははじめませんか *****

- ・初心者大歓迎です!!
 - ・プレバトのように楽しくやりましょう!!
- ※日時は柔軟に対応いたします。

連絡先：090-5293-1016 (宮城 章)
又は (電友会事務局)：098-831-2086 (小波津)

《詩吟サークルより》

***** 詩吟ははじめませんか *****

・初心者
大歓迎です!!

- ・声を出すことは健康にも良いことです。
 - ・さあ、一緒に始めましょう。
- ※練習日時は柔軟に対応いたします。

連絡先：080-1717-3302 (村吉政常)

事務局からのお知らせ

1. 沖縄電友会ホームページについて

電友会・会員の活動状況や訃報情報をブログで紹介しております。

スマートフォン、パソコン・タブレット端末からご覧頂けます。

是非、アクセスして見てください（下記①または②）

① 沖縄電友会会場で Google 検索

② <https://blog.goo.ne.jp/okinawadenyukai> (goo ブログ終了に伴い 10 月頃変更予定)

2. 年会費・広告費の納入について

今回、会報発送に伴い年会費等の請求書を同封しておりますので、未納の方は、**令和 7 年 9 月末までに郵便局「払込取扱票」または下記銀行口座への振込**をお願いいたします。電友会運営の貴重な財源です、皆様のご理解・ご協力方よろしくお願いいたします。紛失等問い合わせは事務局までお願いします。

① 琉球銀行 寄宮支店 (普通) 1 0 2 5 3 1 7

② 沖縄銀行 二中前支店 (普通) 1 4 5 4 4 4 8

③ 沖縄県労金 本店 (普通) 3 5 1 7 0 5 7

いずれも**口座名義は、沖縄電友会 会長 仲本榮章**

※振込手数料は、各自ご負担お願いします。

○会報の原稿募集について、随筆、随想、日記、旅行記、近況報告、短歌、俳句、川柳、琉歌、その他ご意見、情報等をお寄せ下さいますようお願い致します。

近況・雑感 (ハガキ短信 120 字以内)

がんじゅう広場 健康・趣味 (400 字 2 枚程度) について日常から会得、実践していることにタイトル・氏名を付記する。

文芸コーナー随想 (400 字×4 枚程度) 自分の思いや感想などにタイトル・氏名を付記する。

○会員の訃報は、事務局へご連絡下さい。弔意を差し上げることになっております。

○ボランティア活動されている方（個人又は団体）は、その活動状況をメール・電話等でお知らせください。



表紙の説明

「ホーイヤ、ホーイヤ、
カニチをもつと寄せろ」

大城 晴男

この写真は二〇一七年に糸満市字座波で撮った綱引き行事（カシチーチナ）毎年旧暦六月二十五日です。

頭上でカニチを結合させる特徴があります。

綱引きは、綱を引くことで豊年を引き寄せる」とされ、豊作祈願・子孫繁栄などの意味も込められ、各地域における夏から秋の風物詩となっています。

☆ 令和七年度定期総会・生年祝懇親会を開催いたしました。

宮古・八重山とのweb中継にあたり、NTT沖縄支店ビジネス営業部沖縄振興推進部門のご協力を頂きありがとうございました。三会場で九十一名の会員の参加がありました。

総会では、NTT西日本沖縄支店古江支店長の代行挨拶で古堅誠ビジネス営業部長様、電友会本部副会長小椋敏勝様にご挨拶戴き感謝申し上げます。古堅部長は七月一日付けで沖縄支店長へ昇任されました、久々の県内出身者の支店長誕生、誠にめでたうございます。

今年の生年祝いの皆様から、近況を寄稿いただきありがとうございました。特に数え九十七歳カジマヤーの垣花義唯さんの文章には感激いたしました、また、知花阿佐子さんの復帰前琉球電電の時代背景等がよく分かり、具志堅栄孝さんの健康に対する心がけは大いに見習うべきところがありました。今回八十五歳生年祝いで、四名（村吉順栄さん、長嶺則夫さん、俊久子さん、玉城正雄さん）が出席され祝福されました、来年は多くの先

輩方がお越し頂き元気な姿を見せていただきますよう、宜しくお願い致します。

☆ 昨年度は、沖縄電友会設立五十周年事業として幾つかのイベントを開催し、忙しい一年でありました、また、三月には中国福建省との音楽交流に尺八・三線サークルが参加し、福建・沖縄の文化交流の一翼を担いました。台湾有事等と囁かれておりますが、民間での文化交流等を更に進め、いつまでも平和な世の中であり続けたいものです。

☆ 昨年度好評でしたバスツアーを新年一月末に計画しております、バス車内でのカラオケやビンゴゲーム、花見、ランチブッフエ、タンカン狩りと盛沢山の企画を準備しておりますので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

☆ 沖縄電友会は皆様が健康で、サークル活動等充実したシニアライフを過ごせますようお手伝いいたしますので、今後ともご協力方よろしくお願い致します。

（事務局…小波津忠）

編集発行
〒902-0064

電話
E-mail

印刷所
〒903-0807
電話

電友会沖縄地方本部事務局(沖縄電電同友会)

那覇市寄宮1-3-37

NTT那覇ビル内

(098)831-2086

okiden@mocha.ocn.ne.jp

合同印刷

那覇市首里久場川町1-117-5

(098)887-1066